

# 平成30年度 栗東市バス対策地域協議会(第2回)

## 議 事 録

[開催日時] 平成31年2月13日(水) 14:00～

[開催場所] 栗東市役所4階 第3・4委員会室

[出席者] 清水会長、坂口副会長、道久委員、相井委員、  
永井委員(代理者 杉江氏出席)、大崎委員、平田委員、  
伊勢村委員、大西委員(代理者 中嶋氏出席)、北村委員、  
隠岐委員、山田委員、野村委員、坂田委員  
野村市長、中濱建設部長(委員)、  
事務局(建設部土木交通課、教育委員会学校教育課)

[欠席者] 芝委員、濱田委員

[会議概要]

1. 開 会
2. 挨拶
  - ・清水会長挨拶
  - ・野村市長挨拶
3. 協 議 事 項
  - (1) 平成30年度 くりちゃんバスの利用状況及び収支状況について
  - (2) くりちゃんタクシー金勝循環線の時刻表変更について
  - (3) 栗東市バス交通体系計画の見直しスケジュールについて
  - (4) 栗東市バス交通体系計画の見直しに係るアンケート調査の実施について
4. その他
5. 閉 会
  - ・坂口副会長挨拶

[議事内容]

1. 開 会

2. 挨拶

3. 協議事項

(1) 平成 30 年度 くりちゃんバスの利用状況及び収支状況について

○事務局より内容説明

主な意見、質疑応答など

○特に意見無し。

(2) くりちゃんタクシー金勝循環線の時刻表変更について

○事務局より内容説明

主な意見、質疑応答など

○（委員より）「くりちゃんタクシー」は予約制だが、今回追加した登下校時のタクシーについては、予約が必要なのか。無条件でこの時間帯は運行するのか。

→（事務局より）基本的には、1週間前に保護者から「くりちゃんタクシー」の1週間分を予約してもらう予定である。

→（委員より）毎週、保護者が電話をしないといけないわけですね。

→（事務局より）現時点では、そのように考えております。

○（委員より）何人ぐらい乗るのか。

→（事務局より）観音寺地域で5名、浅柄野地域で4名乗る予定である。

→（委員より）地域を代表して誰かが電話するようにするのか。

→（事務局より）それぞれの世帯から連絡するよう依頼予定だが、最終の協議はこれからなので、連絡方法についても詰めていきたい。

→（委員より）5名であれば、急に熱が出ることもあるので、欠席連絡をするように、連絡を密にするほうが良いのではないかと。

○（委員より）子ども料金は100円なのか、それとも、無料なのか。

→（事務局より）子ども料金は、片道100円である。

- (委員より) 往復で1日200円かかるわけですね。
- (事務局より) 子どもは片道100円、往復200円です。運賃は、市から補助金の支払いをするので、世帯の費用負担はないようにしたいと考えている。
- (委員より) 市が負担するということか。
- (事務局より) そのとおりである。児童がタクシーに乗るときに、毎回100円を払うのは大変なので、通学用の「パス」を見せるようにして、料金は後で請求することに計画している。
- (委員より) コミュニティセンター金勝で、低学年と高学年を分けて乗せるので、高学年の児童は理解できるから良いが、1、2年生の児童の場合、タクシーを使っている子が「〇〇ちゃんは、ええな。僕は乗せてくれへんのか」と言って、使っていない子が「パスを持ってないから、お前はあかんのや」と子ども同士の言い争いが起きたり、「何で先生、あかんのや」と言われたりすると困る。この辺りは、学校教育等できちんと指導するか、方法を検討してもらいたい。
- (事務局より) 今回のタクシー使用について教育委員会では、今のような懸念が出ていたので、教育委員会や学校とも協力して検討していきたい。

- (委員より) 用事で観音寺まで行ったことがあるのだが、遠い。金勝小学校から観音寺まで、4km以上あるのか。浅柄野南山までは、何kmくらいあるのか。
- (事務局より) 4.5~5km近くある。
- (委員より) 近くに住んでいる子どもは、遠くから通っている子の状況を知らないとと思うので、毎日通学で苦勞していることを皆さんに教えることも必要かと思う。

☆くりちゃんタクシー金勝循環線の時刻表変更について・・・承認

### (3) 栗東市バス交通体系計画の見直しスケジュールについて

○事務局より内容説明

主な意見、質疑応答など
-------------

- (委員より) アンケート調査の趣旨はよくわかっており、全面的に協力したいが、ドライバーに配布作業はさせられない。道路運送法上も無理かと思う。もう1つ、どの路線に、どの程度、アンケートの配布をするのか。4月はもうすぐなので、詰めていただかないと協力のしようがない。
- (事務局より) 市内全域を対象とした2,000人へのアンケート調査については、郵送で送付する。バス利用者には、直接アンケートを取りたいということで、平成

29 年に実施した際には運転手から手渡しで配布してもらったが、危険なこともありあまり配布できなかった。そこで、今回はシルバー人材センター等に協力してもらい、直接バスに乗って、安全かつ多くの利用者からアンケートが回収できる方法を検討中である。

- (委員より) バス車内で渡そうと思うと安全が気になるわけなのだから、降りる人が多い所で渡したらどうか。中継点のバス停で待っていて、協力をお願いする方法も検討してはどうか。
- (事務局より) 郵送回収とするため、調査票と封筒を一緒に渡します。
- (委員より) 事業者と相談のうえ、安全に実施できるようお願いします。

☆栗東市バス交通体系計画の見直しスケジュールについて・・・承認

#### (4) 栗東市バス交通体系計画の見直しに係るアンケート調査について

○事務局より内容説明

主な意見、質疑応答など
-------------

○ (委員より) アンケートについて、乗った人の回答よりも、むしろ乗らない人の意見を、例えば、自治会を通じて自治会の役員でもいいので、聞くと良いと思う。意外と、自治会の人そのものが知らない。自治会の役員が知らないということは、一般の人はバスが通っているくらいのイメージはあっても、いつから運行されるのか等、わからないと思う。住民全員からアンケートを取るの難しいと思うので、自治会の役員を通じて、住民の声を吸い上げてはどうか。

→ (事務局より) 資料 5-1 は、市民から無作為に 2,000 人を抽出して、アンケートを送付し、資料 5-2 については、利用者に配布します。

→ (委員より) 市民は、どのように選ぶのか。

→ (事務局より) 無作為で 2,000 人を抽出し、送付した本人と家族 1 名に依頼する形で、1 世帯から 2 つのアンケートが取れるように送付することで、最大 4,000 人から回答を得られるよう計画している。

→ (委員より) 2 人から回答いただくことをしっかりと書いておかないと、なぜ 2 枚入っているのか、受け取った市民がわからない。

→ (事務局より) 明記する。

○ (委員より) 回収率が 30%なのであれば、バス利用者についても、サンプル数が非常に少ないデータになってしまうので、やり方を考える必要がある。利用者が延べ人数で

80名／日ほどの路線なので、利用者は40人しかいない。40人の30%の10人しかアンケートが返ってこなければ、資料にするのも難しいのではないか。それこそ乗り込み調査で、アンケート用紙を手を持って個別にヒアリングをしたほうが良いのではないか。

→（事務局より）貴重なご意見として承る。

- （委員より）事前に目を通した中で、順番に見ていったときに、突然、大宝循環線延伸の話が出てくるため、何のアンケートなのか、とまどってしまう。このアンケートを通じて啓発するのはいいですが、大宝循環線のアンケートなのかと思えば、めくってみると運行実績が出てくるので、違和感を覚えた。

→（委員より）アンケートに予断が入るのではないか。後ろにするか、別の用紙を入れるかしたほうが良いのでは。

- （委員より）免許証返納のアンケートの場合、今後、どうするお考えなのか、例えば、バスを利用する、家族に送迎してもらおう等の事情が聞ければ、まだ前向きな感じがするが、単純に返納するに○をするだけでは、効果がない。

- （委員より）最後の質問16なら、3つ教えてくださいとなっている。例えば、市内にくまなくバス停を設置する、運行頻度を上げる、運賃を下げる、ICカードが利用できる等、どれか3つが多かったとしても、そのとおりに実施することはできないのではないか。対応できないような回答を書かせて、どうしたいのか。

→（事務局より）委員の意見も踏まえ、実現不可能なものについては極力削除する。

くまなくバス停を設置することはできないが、多くの自治会エリアを通れるようなルートを考える等、回答の多いご意見を参考にして、今後の見直しに活かしていきたいと考えている。運行頻度を上げるというご意見が多いのであれば、バスの本数を増やすには、どうしたらいいのか、検討する。

→（委員より）市内くまなくではなく、現在のルートでバス停を増やすと書いたほうが良いのでは。

→（事務局より）バス停の数を増やすとしたほうが良いかもしれないので、バス事業者と検討する。

- （委員より）黒字になったとはいえ財政収支比率はまだ悪いので、アンケートでバスの便数を増やすという回答が多くても、財政的に無理である。

○（委員より）気づいたことがあったら、いつまでにお伝えすれば良いのか。資料のおかしい点に気づいたときに、事務局に聞いてもらえる体制なのか。期日はいつまでにと  
言ってもらえると、それを目指して考えようかと思う。

→（事務局より）資料に気づいた点があれば、今月中に土木交通課へ電話・FAX・メールで連絡して欲しい。

4. その他

○報告事項等無し

5. 閉会

以上